

# 動物フェスティバルが開催されます

動物を可愛がり大切にすることを学ぶことにより、人と動物が共生できる明るく豊かな社会づくりを目指すために「動物フェスティバル」が開催されます。

動物とのふれあいにより、動物の正しい飼い方や動物に対する理解を深めましょう。



## とき

9月23日(土)  
午前10時～午後4時



## ところ

竜王町ドラゴンハット  
ドラゴンふれあいセンター



## 目的

- ★犬が、いかに人間社会に役立っているかを知ってもらう
- ★動物の温かさ、命の大切さを肌で感じてもらう
- ★人と犬が、よりよい関係を築ききっかけにする。



## 内容

- ・犬のしつけ方体験
- ・犬の飼い方相談
- ・身近な動物とのふれあい
- ・盲導犬、災害救助犬の実演
- ・ペットの健康相談など

犬の飼い方は正しいですか？



### ●犬のフンを放置しない

周りの人に不快な思いをさせないようにフンを道路などに放置せず、飼い主が責任をもってフンの処理をお願いします。

### ●放し飼いをしない

迷い犬になり、飼い主が見つからず処分されていく犬が後を絶ちません。飼い犬であることと分かるように「犬の鑑札」(登録時に交付されるもの)を犬の首輪などに必ずつけましょう。

また、犬は、放し飼いにせず、通行人や来客者をおどかさずこのない場所にしっかりとつないで飼いましょう。

### ◆問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当  
☎6578 有線67784

## 感雑向綿

日野町長 藤澤直広

9月は台風シーズン、集中豪雨による被害が全国各地で発生しているだけに心配です。世界中で豪雨、熱波、豪雪などの異常気象が起っています。

「地球が病んでいる」ことの現れではないでしょうか。災害への備えとともに地球環境を守る取り組みが必要だと思えます。

自律のまちづくりの重点課題のひとつに「防災、防犯対策の強化」があり、「日ごろの人と人との『つながり』『見守り』を通じた信頼関係の構築が、安心、安全な地域づくりの原点」とあります。行政とともに地域が力を合わせるこ

とが大切です。地域の力の要に消防団があります。現在、日野町消防団は、団員185名。火災、水害、地震、遭難救助など消防団の役割は重要です。危険と背中合わせの究極のボランティアです。ところが、全国的には、かつて200万人いた団員が90万人に減少しています。幸い日野町

では、地域の皆さんの努力と「自分たちの地域は自分たちで守る」という気概によって団員定数を確保いただいております。ありがとうございます。

地域社会を支えるのは行政だけでなく、「八公」やボランティアが大きな役割を果たしています。町内の福祉施設で行われた「夏まつり」には福祉関係団体の皆さんがたくさん協力されました。

「サマーフェスタinひの」や「グリムMTBフェスティバル」、各地区で開催される敬老会や運動会も、たくさんの方の協力によって成り立っています。一方で、夏休みの定番であるPTAの奉仕作業へ参加されない方がおられる状況も聞いています。

人は一人では生きられません、社会は、金銭による「契約」だけで成り立っているわけではありません。助け合うこと、奉仕すること、地域や集団のなかで居場所があり、仲間として認められることこそ大切なのではないのでしょうか。人には誰も何か役に立ちたいという尊い気持ちがあるのではないのでしょうか。そんな気持ち広がる町にしたいものです。